

2024年12月26日

エア・ウォーター株式会社

北海道の自治体向け寄付支援制度「ふるさと応援H（英知）プログラム」 2024年度分の寄付先決定のお知らせ

北海道での事業推進を統括するエア・ウォーター北海道株式会社（代表取締役社長：庫元 達也）は、北海道の自治体向け寄付支援制度「ふるさと応援H（英知）プログラム」において、社外有識者等で構成する委員会での審査を経て、2024年度分として、19市町村（19事業）に総額1億2,999万円を寄付することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 審査について

（1）応募総数と寄付支援事業の特長

エア・ウォーター北海道は当社グループの創業の地の一つである北海道の地域活性化のため、北海道の自治体向け寄付支援制度「ふるさと応援H（英知）プログラム」を創設。2023年度から2030年度までの8年間で総額10億円を上限に、道内179市町村を対象に、エア・ウォーターグループの成長軸である「地球環境」や「ウェルネス」の観点を含め、様々な社会課題の解決に貢献する自治体主導の事業を募集しました。2024年度は2024年9月より募集を開始し、54市町村（61事業）から、寄付要望額5億7,796万円の応募がありました。

当社グループは、道内約200カ所に拠点を有し、日頃から地域社会に密着した視点で事業展開を行っておりますが、地域生活をめぐる多様な業務を担う地方自治体から熱意あふれる切実なご提案を数多くいただいたことで、北海道の未来に対して新たな視点や気づきを得る大変貴重な機会となりました。

応募内容は、地球環境、ウェルネス関連のほかにも、教育関連や農業、福祉、観光、林業など、地域の特徴を捉え社会課題を解決しようとする事業が数多く寄せられました。今年度から創設した事業費が300万円以下の少額事業や複数の市町村が共同で取り組む事業については、他の地域でも参考になるアイデア溢れる事業もありました。とりわけ、昨年度に採択された事業のアイデアを踏まえ、自らの地域に落とし込んだ提案は、本プログラムの実施意義が強く感じられるものでした。

ご応募いただいた関係者の皆様に、あらためて感謝を申し上げます。

（2）審査過程

支援事業の選定にあたっては、道内の若手外部有識者から構成する「ふるさと応援H（英知）プログラムサポート会議」にて一次審査後、地域行政・経済に見識を有する外部有識者等で構成する「ふるさと応援H（英知）プログラム推進委員会」にて、持続性・波及性・創造性・協働性・地域への貢献度合いなどを総合的に判断して決定しました。

2. 寄付先自治体と対象事業

市町村	事業分類	事業概要	寄付額
三笠市	脱炭素	バイオマス作物栽培と連携した食のまちづくり推進事業 土壌への炭素貯留機能が大きいバイオマスのジャイアントミスカンサスを栽培し、ボイラーの燃料に利用。熱をハウスの加温に活用し、冬期にゼロカーボン作物を栽培します。	1,000 万円
滝川市	教育	生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム 滝川市版 STEAM+Eco 教育の教材を活用したプログラミング学習、ものづくりワークショップ行い、図書館では学習体験講座、郷土魅力発見につながる探求学習を開催。	1,000 万円
恵庭市	インフラ	デジタルツインによる舗装アセットマネジメント事業 生活道路の効率的な補修を可能にする、簡易な路面調査と AI を組み合わせた舗装デジタルツイン技術を室蘭工業大学と共同研究を行い構築します。	700 万円
石狩市	交通	地域公共交通再編事業 浜益区内のデマンド交通事業やスクールバス・混乗事業など移動に係る事業を一元的に担う移動プラットフォームを地域に創出し、人的・物的リソースを効率的に動かせる仕組みを構築します。	1,000 万円
小樽市	医療	小樽・後志救急医療連携事業 PACS(医療用画像管理システム)に接続可能なアプリ(汎用画像診断装置用プログラム)と必要な機器類を小樽市立病院、後志管内の医療機関に導入します。	1,000 万円
積丹町	観光	環境と社会の未来を創る積丹型エコツーリズム推進事業 特産品のウニを活用した環境保全の活動である「積丹型エコツーリズム」を展開。環境資源の価値を普及啓発するエコツアーの実施や環境資源に関する資料の収集・保管・蓄積・活用を行います。	300 万円
登別市	漁業	登別海岸藻場再生×ブルーカーボン生態系推進事業 地域の漁業関係者などの多様なステークホルダーと連携し「持続可能な循環型藻場再生モデルの構築」を実施。藻場再生事業、ブルーカーボンクレジット認証取得調査を行います。	1,000 万円
厚真町	林業	企業向け森林サービスを軸とした関係人口創出事業 多様な森林事業者のリソースを活用して、健康・観光・教育等の体験コンテンツと森林を掛け合わせた企業向け森林サービス「体感型企業研修(仮称)」を構築します。	770 万円
日高町	教育	町民学芸員と目指す【郷土愛あふれる日高町】実現事業 日高町にある植物に関連したアイヌ語地名が残る場所に焦点を当て、参加者は現地に徒歩で訪れ、専門家や職員による解説受けつつ植物のフィールド調査を実施します。	216 万円
えりも町	観光	映画「北の流氷」(仮題)製作事業 浦河町、様似町、えりも町、広尾町による地域振興と観光誘致を目指した映画「北の流氷」(仮題)制作事業を行います。監督は浦河町出身の田中光敏氏、脚本は小松江里子氏、音楽は久石譲氏が担当です。	500 万円
新ひだか町	教育	新ひだか町図書館・博物館10周年記念事業 新ひだか町図書館のオリジナルキャラクター「本馬くん」の絵本を制作し、町の図書館、学校図書館での貸出、新小学1年生への無料配布のほか、ふるさと納税への返礼品としての活用も検討しています。	250 万円
旭川市	起業	旭川市スタートアップ・エコシステム構築プロジェクト アントレプレナーコース新設予定の旭川市立大学の取組と経済的価値と社会課題解決が両立する事業創出に取り組みます。高校の探求事業で活用する教材の作成、高校・大学生対象の体験プログラムの実施体制の構築を行います。	1,000 万円

東川町	福祉	地域共創・福祉ウェルネス教育プロジェクト DX が進行する介護分野で最先端の教育機器のロボットや電動機器類を導入し、最新の実践的なスキルを学生たちが学べるようにし、地域住民の介護サービスの質の向上も図ります。	1,000 万円
美瑛町	農業	農業残渣の地域熱利用モデル化事業 農業残渣用に開発されたバイオマスバーナーを導入し、各種農業残渣の混合物の混焼試験を実施、地域全体での脱炭素・循環型熱利用システムをモデル化する事業です。	1,000 万円
上富良野町	観光	花の百名山富良野岳高山植物ガイドブック制作事業 「花の百名山」十勝岳連峰・富良野岳に咲く高山植物のガイドブックを道内の野草愛好家野表結(KUSACO)氏の監修のもと制作します。	300 万円
中川町	林業	地域木材活用事業 木材の有効活用を図るため、移動式製材機を購入、道内の木工作家や家具作家に木材を供給し、「木材流通コーディネーター」が付加価値のついた板や柱などの製材を販売します。	300 万円
津別町	脱炭素	木質バイオマスによる地域熱供給 エネルギーセンターを建設し、町内の民間特別養護老人ホームなどに木質バイオマスによる熱エネルギーを 24 時間供給、その熱を暖房・給湯に利用する「地域熱供給」を行います。	1,000 万円
幕別町	教育	本を核とした子育て支援推進事業 地球環境に配慮した素材のバッグ制作や図書貸出セットの設置、エコ食育等がテーマのオリジナル絵本を制作し小学校入学時にプレゼント、絵本作家のワークショップを実施します。	99 万円
羅臼町	その他	世界自然遺産「知床」の海を守る海中ゴミ回収事業 世界自然遺産地域などの漁業用の網等を回収します。将来はダイビングによる海中ゴミの回収をサステナブルツアーとして商品化します。	564 万円
			1 億 2,999 万円

3. 今後のスケジュール

このたび決定した 2024 年度の寄付金の交付は、2025 年 3 月末までに実施いたします。なお、選定された事業の実施状況に関しては「ふるさと応援 H (英知) プログラム」の専用サイト (<https://airwater-hprogram.jp/>) で公表していく方針です。

また、支援事業の実績報告会を 2025 年 2 月 6 日 (木) 14:30～、「エア・ウォーターの森」(札幌市中央区北 8 条西 13 丁目 28-21) にて開催いたします。会場+オンライン聴講のハイブリッド開催形式で、2023 年度の寄付先自治体に実績を報告いただく予定です。詳細については専用サイトをご覧ください。

なお、3 回目となる 2025 年度の公募及び寄付金の交付は、2025 年 9 月に募集を開始し、12 月頃に寄付先を決定する予定です。詳細については、事前に専用サイト等で公表いたします。

(ご参考：審査を行った外部有識者等のご紹介)

【サポート会議メンバー】

所属・団体	役職・氏名	略歴
株いただきますカンパニー	代表取締役 井田 芙美子	北海道札幌市出身。1980 年生まれ。帯広畜産大学卒業後、足寄少年自然の家、然別湖ネイチャーセンター、十勝観光連盟を経て 2012 年 3 月に日本初の畑ガイド場を開始。女性起業家ネットワーク十勝〇〇婦人部代表、留学支援事業「北海道みらいチャレンジ」パートナーズリーダー、HBC「今日ドキッ」コメンテーターなど幅広く活動中。
(一社)ドット道東	代表理事 中西 拓郎	北海道北見市出身。1988 年生まれ。一般社団法人ドット道東代表理事。2012 年北見市に Uターンし、フリーランスとしてローカルメディア運営・編集・プロデュースなど幅広く道東を繋ぐ仕事を手掛ける。2019 年 5 月、北海道の東側・道東地域を拠点に活動するソ

		ーシャルベンチャーとして社団法人を設立、現職。
(公財)はまなす財団	事務局長 中尾 敦	北海道帯広市出身。青山学院大学国際政治経済学部卒業後、北海道庁入庁。株式会社リクルート、北海道開発局、木古内町への出向後、鉄道課長、工区課長、広報課長、観光局担当局長を歴任し、2023年に道庁を53歳で早期退職。現在は、公益財団法人はまなす財団で全道の地域づくり活動支援に従事している。
(一財)HAL財団	サポートチーム 伊東 和紀	北海道平取町出身。1974年北海道庁入庁。後志支庁長、人事委員会事務局長、危機管理監を歴任する。退任後は株式会社HBA常務取締役役に就任。2020年より一般財団法人HAL財団にて、北海道の地域活性化に尽力している。

【推進委員会】

所属・団体	役職・氏名	略歴
(一財)HAL財団 (公財)北海道文化財団理事	理事長 磯田 憲一	北海道旭川市出身。明治大学法学部卒業後、北海道庁入庁。上川支庁長、総合企画部長を経て北海道副知事に就任し、2003年に退任。現在、一般財団法人HAL財団理事長、公益財団法人北海道文化財団理事長、東川町・北工学園 理事長、君の椅子プロジェクト代表等を務める。
(公財)秋山記念生命科学財団	理事長 秋山 孝二	北海道札幌市出身。千葉大学教育学部卒業後、中学理科教諭を経て株式会社秋山愛生館に入社。その後、株式会社スズケン代表取締役副社長等を歴任し、1996年に公益財団法人秋山記念生命科学振興財団理事長に就任する。
NPO 法人 Fit	北海道会議代表 三島 敬子	北海道大樹町出身。日本女子体育短期大学卒業後、株式会社セントラルプロモーション北海道代表取締役等を歴任。現在は、NPO 法人 Fit 北海道会議の理事長、一般社団法人おおば比呂司アートコレクション代表を務める。食と観光のブランドの開発や指導など、地域活性化に尽力している。
(公財)北海道文化財団	事務局長 篠原 結城子	北海道札幌市出身。藤女子短期大学卒業後、北海道庁入庁。環境生活部文化局局長や人事委員会事務局次長を歴任する。2021年より公益財団法人北海道文化財団事務局長として、道内の文化や芸術の振興等の事業を推進する。
エア・ウォーター(株)	北海道代表 唐渡 有	東京大学法学部卒業、1977年住友金属工業に入社後、経理部長などを経て、エア・ウォーター株式会社経理部長。専務取締役、取締役副社長を歴任し、現在北海道代表として、北海道の社会課題を解決するべく、尽力している。

以 上

【ニュースリリースに関するお問合せ先】

エア・ウォーター株式会社 広報・IR 推進室

E-mail : info-h@awi.co.jp TEL : 06-6252-3966

【「ふるさと応援H（英知）プログラム」に関するお問合せ先】

エア・ウォーター北海道株式会社 事業企画部内 地域応援室

E-mail : info-hprogram@awi.co.jp